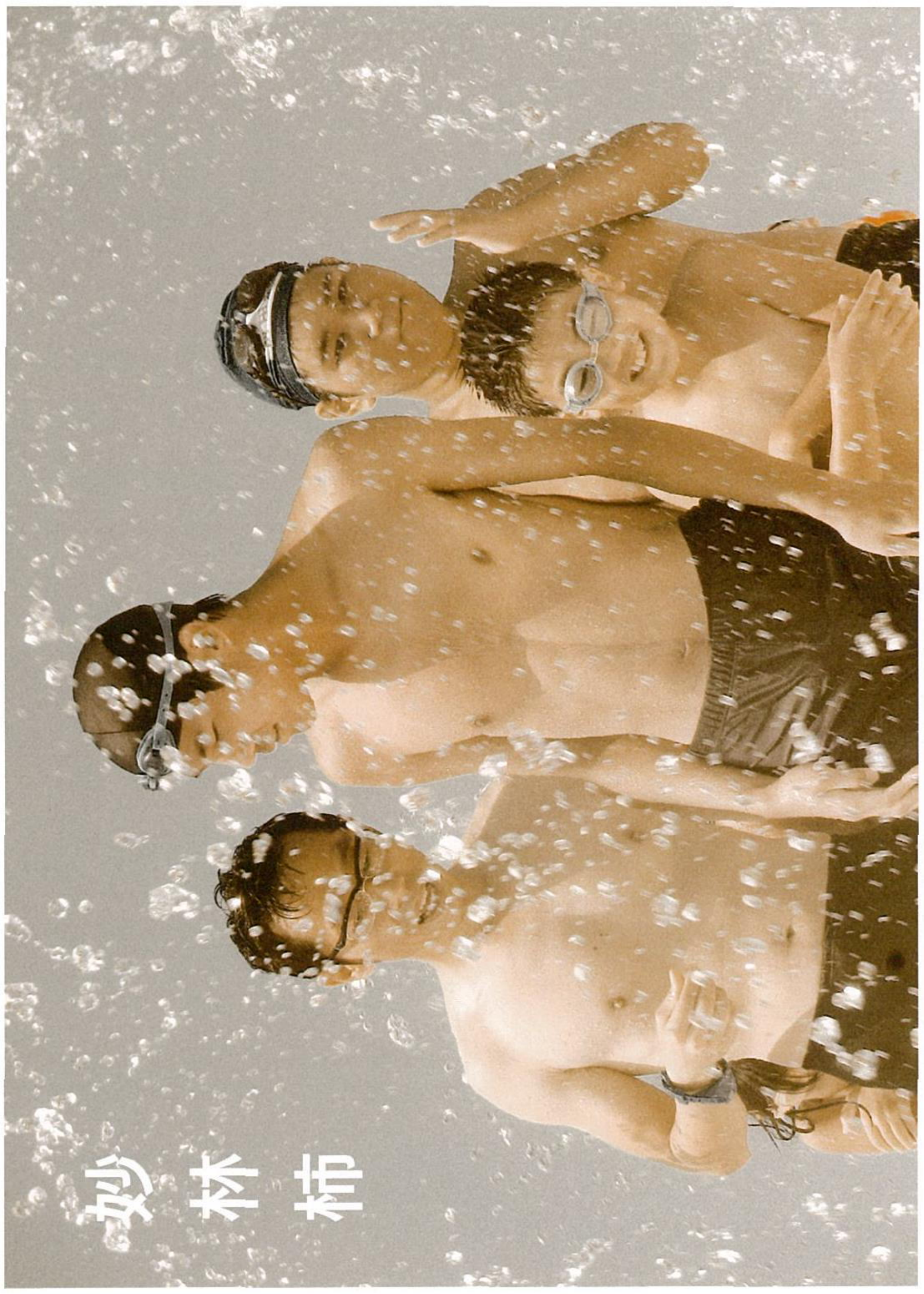


寄付者一覧

星が岡牧場

祢津香奈・丸田均・北川吉則・中村香・高多秀樹・JA能美女性部・辰口校下婦人会・中屋栄一・美川婦人会 会長 浜上ミチコ・北端芳子・北栄パイピング（株）・井村屋（株）北陸支店 販売課・（株）グルーヴィ・グリーンフラワー・サウサリート代表取締役 蔵西健治・カーブス能美寺井 武田雄一郎・三崎ストアー・橋本洋

三草二木 西圓寺

北村玉子・佐々木孝子・竹田とし子・北川吉則・中出美智子・北川邦子・遠藤ファーム・（有）辻石油・（株）朝日商会・（株）プロフーズ・川筋町子・青野真子・中田貞子

エイブルベランダBe

（株）ネスク

日本海倶楽部

渡邉和幸・南龍保・井手一夫・谷口健司・Aコープ内浦店・三谷産業イー・シー（株）・オイラー（株）・（株）ダスキン北陸 穴水営業所・内浦ガス共同組合（石崎商会）・（株）コーシン 能登営業所・たまき酒店・（有）能登浄化槽管理センター・宇野酸素（株）・直川クリーニング（株）羽咋工場・（株）ビックオート・（有）アートプラザ373・（株）北陸サンライズ・（株）鍵主工業・（株）マルシン・ダートコーヒー（株）七尾支店・（株）北陸リビング社・松波酒造（株）・北陸綜合警備保障（株）珠洲営業所・カナカン（株）・日本ツアーシステム

Share金沢

坂田・安養寺 山中・西川・明和松任分校・松任分校 池田・カナカン乾親会・畑

ケアホーム「ルース」開設

ケアホーム「ルース」法人18軒目となるルースがH25年4月に開設しました。

ケアホーム「ハーベスト」新築移転

ケアホーム「ハーベスト」がH25年4月に新築移転しました。

NHKゆく年くる年 生中継！

H24年12月31日 三草二木西圓寺より中継されました。「東日本大震災被災地の復興」と「日本を元気に」をテーマに西圓寺から元気を届けました。

美川37café 受賞！

美川37caféが第42回いしかわインテリアデザイン賞2013「石川県デザインセンター理事長賞」を受賞しました。

（財）日本財団よりB's グリルに保冷車の補助をいただきました。ありがとうございました。

（社団）輪島法人会より日本海倶楽部にソファ・センターテーブルを、クローバーにテレビ、ブルーレイプレーヤー、洗濯機を御寄付いただきました。ありがとうございました。

交流招待一覧

星が岡牧場

能美の里山ファン倶楽部・舟見ヶ丘保育園・金沢福祉専門学校・明和特別支援学校・（社福）あいのわ福祉会・能美市民生委員（寺井地区）・（社福）唐池学園 貴志園・（社福）藤沢育成会 湘南セシリア・専門学校アリス学園・東京都立中野特別支援学校・（社福）白山市社会福祉協議会・白山市長 作野広昭・柿木太鼓 畑尾・長久手市役所 市長直轄たつせがある課 特命係・長久手市役所 建設部田園バレー事業課・能美市社会福祉協議会・石川県社会福祉協議会・相談支援事業所ロビンフット・石川県福祉人材センター・（社福）志友会 くまもと江津湖通園センター

三草二木 西圓寺

石川県立錦城特別支援学校育友会・高岡市伏木地区民生委員児童委員協議会・（財）石川県ユースホステル協会・白江亨 森田祥子・（社福）あいのわ福祉会・（社福）魚沼地域福祉会 やいろの里・日本航空（株）・NHK・養老町民生委員児童委員協議会・白山市自立支援協議会当事者部会・能登中部圏域精神障害者等家族会連絡会・専門学校 アリス学園・（社福）野々市市社会福祉協議会・東京都立白鷺特別支援学校 田邉大樹・東京都立永福学園 仙田能丈・東京都立中野特別支援学校 小野寺肇・東京都庁特別支援教育推進室 小笠原まち子・大田区立障害者就労支援センター 徳留敦子・大田区立上池台障害者福祉会館 馬場聡子・大田区立新蒲田福祉センター知的障害者作業室 黄木隆芳・下呂市馬瀬地区民生委員児童委員協議会・全国精神障害者地域生活支援協議会・（株）新世紀ケアサービス・フェミックス「We」大阪編集部 冠野文・（社福）無門福社会 無門学園・三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）高路地修平 国府田文則・日経BP社 高市清治・JICA北陸支部長 堀内好夫 石橋裕子・日本社会事業大学大学院 仲井裕毅・（社福）ことぶき福祉会・福井県総合福祉相談所 光真坊浩史・（社福）志友会 くまもと江津湖通園センター 江藤ひとみ・（有）ケア フレンズ・南浦和整体学院石川校・石川テレビ放送・NHK金沢放送局・（社福）渓明会・内灘町公民館協議会・（社福）昭寿会・野々市生活学校・石川県リハビリテーションセンター

エイブルベランダBe

JAPANTENT 留学生・アリス学園・富山福祉短期大学・石川県立いしかわ特別支援学校・金沢附属中学校・フォルムのシティ・ケアフレンズ・柏寿会・錦城特別支援学校・ライフクリエートかほく・デイケアみんま・（社福）あいのわ福祉会・川北町職員・グループホームスマイル・若松保育園・石川県立ろう学校・（社福）やまびこ・石川療育センター・福井県児童発達センター光真坊・ケアフレンズ・金沢市役所職員・（社福）無門福祉会 無門学園・石川県立明和特別支援学校

キッズベランダBe

北陸学院大学人間総合学部 フィールドスタディ 学生・金城大学 学生・（社福）やまびこ・（社福）あいのわ福祉会・川北町職員・石川県立明和特別支援学校・高尾新町会青壮年部・金沢大学付属中学校・石川県立明和特別支援学校・（社福）無門福祉会 無門学園・石川県立宝達高校ボランティア部・金沢福祉専門学校

日本海倶楽部

（社福）あいのわ福祉会・（社福）清光会・（社福）無門福祉会・能登町商工会・能登町親の会・内浦ロータリークラブ・農林水産省 経営局 課長補佐 安藤松太郎・農林水産省 北陸農政局 就農給付金 係長 山田和彦・北陸農政局 経営 事業支援部 課長補佐 坂本聡・農林水産省 北陸農政局 企画調整室 企画官 高森輝雄・竹中五十子・大坪幸一・大場守・竹中よし子

ワークセンター 美川・松任

（社福）眉丈会・赤い羽根共同募金会・（社福）あいのわ福祉会・明和特別支援学校・（社福）無門会・長久手市たつせがある課 建設部田園バレー課・福井県総合福祉相談所・金沢ケーブルテレビネット（株）・北陸朝日放送・（株）金沢倶楽部・NHK金沢放送局・あさがおテレビ・NPO法人ぴいすく美川・白山市長 作野広昭・白山市社会福祉協議会・白山市地域振興公社・美川商工会・ヴィスト金沢センター・地域スポーツシステム研究所・（社福）なごみの郷・ニチイケアセンター・美川おかえりの会・喜多浩太郎・美川まること活性化協議会・美川あさ市

（順不同）（敬称略）

表紙

BUSSI-EN PHOTO AWARD 2012 特別賞受賞作品
「ウォーターボーイズ」

あとがき

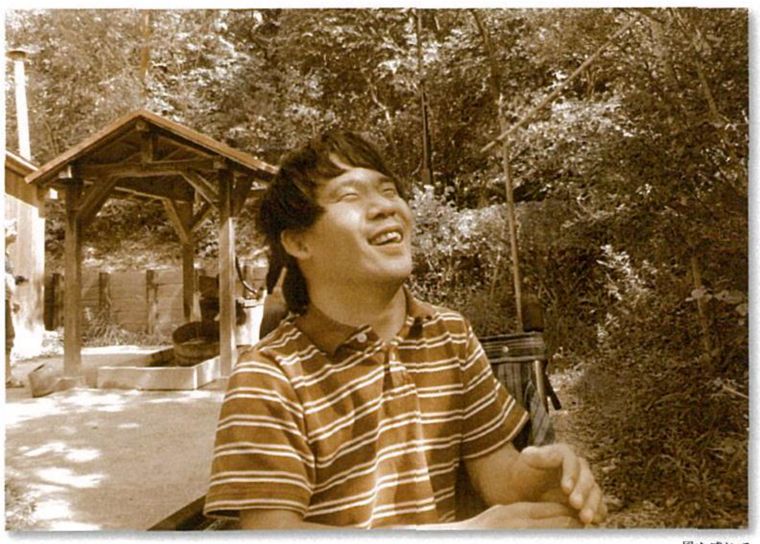
日々に追われ、木々の色が濃い緑に変わっていっていることにも気付かずに過ごしている。少し立ち止まってじっくり見ると、普段見えないものが見えてくる。人もじっくり関わると愛おしく感じてくる。

三草二木西圓寺　安倍真紀

発行

妙林柿 74号

社会福祉法人 佛子園
石川県白山市北安田町548番地2
TEL 076-275-0616
MAIL bussien-japan@po3.nsknet.or.jp
HP http://www.bussien.com
発行人 雄谷良成
発行日 平成25年5月28日


風を感じて

観天望気

「五体不満足」などの著書で知られる作家・乙武洋匡さんが、予約して来店した東京銀座のイタリアレストランで車いすでの入店を断られたことをツイッターで明かし、議論を呼んでいる▼「銀座の屈辱」と題してツイートした乙武さんに、乙武さんのフォロワー61万人を中心にネットユーザーが店を一斉批判。店主はツイッターやホームページで謝罪、当日の状況や店の形状など対応できなかった事情を釈明し、今後は「車椅子の方は事前にご連絡下さい」という但し書きを周知するとした。一方、店を実名で批判した乙武さんにも「弱者を気取った強者の横暴」と批判する声も挙がっている▼冷静に分析すると、店側は障害者であることを理由に一律に入店拒否をしているわけでなく、事前連絡があれば対応できるが、ない場合は現実的に対応できない場合もあるとしていること。乙武さんも店の対応が違法だと言っているのではなく、店側の対応や言い方を問題にしていることが明らかである▼昨年施行された障害者虐待防止法、今しがたの改正で成年後見人利用14万人にも選挙権が認められた公職選挙法、近々成立の障害者差別解消法など障害関係法令の整備が着々と進む中、それでも身近に起こる多くの事は法律を持ち出すようなレベルでない、言い換えると法律では解決できないことばかりだということだろう▼アベノミクスを称して、何かしら景気が良くなる予感、「潮」「風」の変わり目という言葉を最近良く耳にする。「障害のある人もない人も・・・」そんな風を吹かすにはどんな手段があるだろうか、試行錯誤、悪戦苦闘の日々である。

（良）

Share金沢
子どもたちの新居 完成

白山市から金沢市へお引っ越し

平成25年4月1日より障害児入所施設仏子園は、白山市北安田から金沢市若松町へと移転し、名称も「Share金沢」となりました。4月1日、子どもたちは仏子園で最後となる昼食を取った後、思い出の詰まった園舎をバックに記念撮影をし、会長ご夫妻に見送られながら、私たち職員と共にバスでShare金沢に向かいました。こちらに引っ越してから、一ヶ月が経ち、新しい生活に少しずつなじんできています。

子どもたちの生活年齢や障害の特性、地域生活へ向けた準備の必要性などを考えて、4つのユニットに分かれて小規模グループケアを行っており、皆に個室を保障しています。仏子園では、一部屋で複数の児童が生活していたため、児童が一人で落ち着きたい、自分の時間を過ごしたいときなどに場所を確保するのに苦労しました。個室ができたことで、児童の情緒が落ち着いたのを感じています。一方、個室に閉じこもりがちになる児童もいるためそのような児童に対して、どう働きかけていくかという課題も出てきました。

ハード面で、私がもう一つすばらしいと思うのはリビングです。仏子園はリビングというものがありませんでした。ゆえに、児童が職員に関わってもらいたいと思ったら職員室に来て話をするという場面が多くありました。今はリビングに行けば、職員や他の児童と時間を共有することができます。家庭的な空間で安心を感じている児童は多いと思います。

子どもたちの生活面での大きな変化は、学校とShare金沢で日中活動と生活の場を分離することができたということです。以前は、小中学部の児童は明和特別支援学校松任分校が隣接していたため、昼食を仏子園に食べに帰ってきていました。また、寝坊で定時に登校できないと、午後から登校すると児童が言ってきたこともありました。今は皆が明和特別支援学校本校に通っているため、午前・午後一貫して学校で過ごしています。

私の担当する児童のUくんやNくんは、Share金沢内のフキやたらの芽などの山菜取りやとかげやタニシを捕まえたりすることを楽しんでいます。彼らが地域に受け入れられ、地域の人々と仲良くやっていけるよう、これからも支援していきます。

Share金沢　宮下彩

Share金沢 上位ランクイン!!

週刊ダイヤモンド（2013年4月27日・5月4日合併特大号）特集「親子で選ぶ「老後の住まい」」において、Share金沢がサービス付き高齢者住宅全国ランキングに、1,218物件中41位、自立型全国5位、石川県1位に選ばれました。

特集 Mission BUSSI-ENの構想を語る

～繋がり合う地域の構築～

自分が主体になれる場所

1960年3月に知的障害児の入所施設として松任市（現・白山市）北安田町に開園した仏子園もその役目を終え、子どもたちは金沢市の「Share金沢」に引っ越した。主が居なくなったこの建物は今後取り壊され、2年後には、隣接地の佛子園生誕の場所「行善寺」と3月に閉校した明和特別支援学校松任分校跡地も活用しながら、高齢者デイサービスや温泉施設、クリニックなどを備えた〝周辺の地域を支える施設〟に生まれ変わる。今回の特集は、この再編プロジェクト「Mission BUSSI-EN」の構想についてお伝えする。

敷地内は、「行善寺温泉」（図1参照。パースの右側部分）と、「B's」（同左側部分）の二つのゾーン構成となっている。行善寺温泉を訪れる高齢者にとって、ここはデイサービスのみならず寺や温泉など様々な過ごし方ができる場所となる。私たちが大切にしたいテーマは〝介護する・される〟という関係性からの脱却だ。

小西　今、速水さんがデイサービスの準備をしてくれているけど、高齢者が自分の存在を意識出来ることに携わることって大事じゃないかな。何かの役に立って、認められ、活力が出てくるような、ご本人たちが全部受ける側じゃなくて主体になれるもの。

速水　例えば？

小西　自分たちで作った野菜をそこで販売したり。

紺谷　漬物作るとか。

小西　おはぎを作ってみたりね、家庭でやっていたようなその人の得意分野があると思う。全部が全部、プログラムを用意するばかりじゃなくて。

速水　昔取った杵柄を生かして？

小西　私、相談支援していて、市内の高齢者デイとか西圓寺の懐メロ講座を見て回ったけど、活字を読むのが苦手な方も本を持って大きな声で歌われる。昔のことは元気になる源でもあるのかな。

速水　デイでカラオケの講座も開くので、本格的なカラオケボックスもこの中に作る予定なんですけど、聞くところでは、石川県は高齢になっても人に新曲を披露したい人が多い県ナンバーワンなんですって。さらにカラオケボックスにステージを入れたがるのも石川県。高齢の方も毎日歌いたい、本当は。

この敷地内ですでに2年半前に温泉掘削作業が終了し、地下1340mから泉温47.6℃の塩化ナトリウム物泉が湧出した。毎分430ℓの豊富な湯量の高温泉で地元住民にも開放される「行善寺温泉」開設に地元の期待は高い。

五感でくつろぐ空間に

速水　地域のみなさんは温泉ができることを既に知っていて、期待はすごく膨らんでいる。町内の方たちから「新年会は温泉でするわ」とか「花まつり（＊1）復活させてくれ」って声もいただいている。

小西　花まつりって、昔やってたような盛大なやつってこと？

速水　昔は1kmくらい夜店が連なっていたそう。

小西　賑やかだった頃はどんなものだったのか内容も調べないとね。心の奥底にある思い出みたいなのを五感と共にね。

紺谷　丁度桜の時期だから、花の匂いとか。

速水　人々の行き来とか息遣いが感じられたんでしょうね。時代も変わって今はそういう人を繋ぐものが少なくなってきたけど、行善寺温泉に地域のいろんな人が集まって、今日も○○さん元気やなって、自然に気に掛け合える場所になればいいな。

小西　そういう場として足湯が必要かもしれんね。

速水　縁側みたいな所も必要。長くゆったり過ごして欲しい。

小西　ししおどしが鳴ったりね。

速水　お寺の線香の香りとか。

小西　お寺の本堂は、手を合わせたり心を落ち着かせる安らぎの空間になるんじゃないかね。

紺谷　この間、地元の方の畑に小松菜の収穫をさせてもらいに行った時に「わしらも温泉無料になるんかね～？」って聞かれました。

速水　いろんな方に無料かどうか聞かれる（笑）

地域福祉の拠点として

速水　行善寺温泉が、グループホームのメンバーが何か困った時に食事でもしながらスタッフに悩みを打ち明ける〝駆け込み寺〟の役割というか地域福祉の拠点になればと思ってます。地域の方は、グループホームができて逆に元気をもらえると言ってもらえている。

小西　以前にグループホームの反対運動が起こった時、今思えばそこに住んでいただけだったというか、地域との密着性は無かった。地元の声を聴く姿勢が足りなかったり、収穫祭を開くことで対話できていると勘違いしてた部分があって、グループホームを新しく作ろうとした時に全然理解してもらえてなかった。その辺をもう一回見直そうといろんな会合とかに積極的に参加することで理解は深まってきている。速水さんも地元といろんな繋がりが出来てきたんでしょ？

速水　よく呼び出されますね（笑）。地域に住むとはどういうことかを知る為、僕自身も出来るだけ入居者の方といろんな集まりに参加して、住民の方にいろんなことを教えてもらった。まだ僕らはそのお返しができていないので何が出来るのかなと思ってます。

2年後のオープンに先行して、昨年12月に就労継続支援A型事業所「B's グリル」を開設した。B's ゾーンで行う事業は頭に「B's」の冠が付くのが特徴で、B's グリルは地域の配食を担う部署である。

小西　手応えはどう？

紺谷　口コミで広がっています。間違いがないように配達したり、品質の向上に努めたり、挨拶や会話をきちんとして信頼関係を作っていきたいなって。

小西　例えばお客様に「洗剤が無くなったから買ってきて」と言われたら応えていくの？

紺谷　グリル星が岡（＊2）でも身体の不自由な方に配食していて、今にもはずれそうなガラスのサッシにテープ貼ってって言われたりして。何処までしていいか考えながら、ただちょっとでも助けになればとやっていたことはありました。

速水　買い物に行けない高齢者も多いし、そういう要望も出てくるかも。

小西　B's グリルからでも地域のニーズは拾えるよね。配達で回っている時に、その土地の情報を日々蓄積していった方がいいかもね。

B's では、精神科クリニックを備えた児童発達支援センターや、温泉熱を利用したスイミングプールを持った放課後等デイサービスセンター、相談支援事業所など発達期から成人期に必要な諸機能を配した「B's こどもラボ」を展開する。機能がさらにパワーアップする見通しだ。

ワンストップの児童発達支援センター

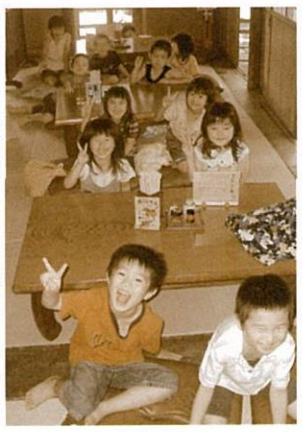
小西　白山市には発達支援に関する専門の医療機関が無い。地元で安心して一貫して通えるような場所が本当に必要。

速水　診断も訓練もできて、デイサービスが使えれば、たらい回しにならないですもんね。

小西　今、市役所の中にある相談支援センターもB's の中に入る予定だけど、相談支援の地域における役割を今から考えて、B's の機能と合わせながら複合的に作っていかなくちゃ。

速水　今まで市役所に集まっていた機能を、障害のことならB's に相談してくれればとか、そういう風になればいいですね。

保護者のたまり場



小西　今、うちの児童発達支援センターが気になるお子さんの情報をいただき、遊びの教室を開くという話になっている。自分から相談に来れる人はそれでいいんだけど、そうじゃない人にB's を利用してもらえたら。だって、カフェとかあって、休憩したり食べる所もあるし、相談出来る所もある。

速水　ここに来たらいろんな子が遊んでいるから、うちの子に障害があるっていう悩みも若干減るような気がする。

小西　孤立してた保護者の方が、思いを共有できる場になるというか。○○ちゃんのお母さんだってあまり繋がりが無かったでしょ。独特の雰囲気の人って思われがちで。でも、そうならざるを得ない理由があったんだって周りが理解できたから、本人も皆も変わったじゃない？それがここの機能なのかな。

紺谷　親御さんがカフェとかで休憩する時とかも、そこで働いてる利用者さんの姿を見て自分の子どもの将来を描いてもらえるかもしれないですね。

「B's」という名前には3つの意味がある。1つめは佛子園の頭文字のB。2つ目はビーズ通しのように「人々が繋がっている」という意味。3つ目は法華経の「衣裏繋珠（＊3）の「珠」の字から。衣裏繋珠の教えは、自分自身も相手にも尊い価値があり、まずはそれに気づき認め合うことの大切さを謳っている。B's や行善寺温泉を通じた地域展開においても、地域の可能性や自分たち自身のでき得る限りの役割を見出していきたいと考えている。

紺谷　この中で完結してしまうんじゃなくて、地域に向けて発展していきたい。もちろん、そこには就労の利用者も中心として関わっていく。

速水　僕らは「支援者」ではなくて裏方に回りたい。地域の人が集まっているなかに、高齢者、障害者、子どもたちが一緒にご飯食べたりお風呂入ったりしている姿がいいなぁ。支援する・されるじゃなくて、気に掛ける・掛けられるという関係。

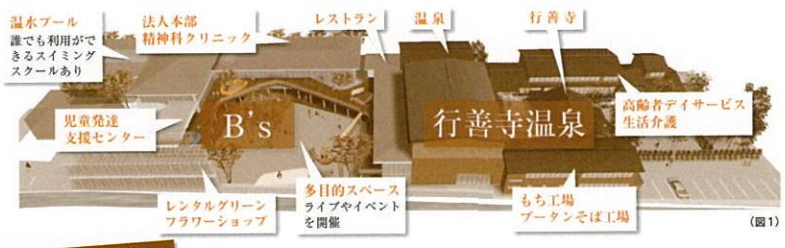
小西　皆さんがどういう形であれ来られて、自分らも元気になれる所になったらいい。いろんなことが話しあえる関係が日常的にあったら、そこが地域の拠点となっていくのかな。療育相談に行かなくても、ここに行けば話せるわ、食べれるわ、温泉入れるわでもいい。人それぞれ、あそこにいったら自分の何か一つ楽になった、ってそういう拠点がいいね。

行善寺温泉とB's がビーズ通しのひものように人々を繋げ、周辺地域にどういう化学反応を起こさせるのか今から楽しみだ。

（＊1）花まつり
お釈迦様の生誕を祝福し4月8日に行われる仏教行事。行善寺でも毎年法要が行われている。

（＊2）グリル星が岡
ワークセンター星が岡（能美市）で行っている配食事業。

（＊3）衣裏繋珠のたとえ
ある男が親友宅を訪れごちそうになり、酒に酔って眠ってしまった。ところが親友は急用で出かけなければならなくなり、眠っている男を起こすのも気の毒に思い、貧乏なその男のために高価な宝珠を着物の裏に縫い付けて出かけていった。目を覚ましたその男は親友が居なくなっていたのでその家を立ち去り、その後も貧乏暮らしは相変わらず、少しの収入が入るとそれで満足するという状態だった。しばらくして男は親友とばったり道で会い、そのみすぼらしい姿に親友は驚いた。親友は「私は君が楽に暮らせるように高価な宝珠を着物の裏に縫い付けていたのに。さあ、これを売って必要なものを買いなさい。何不足無い生活ができるよ」と言った。ここで言う親友はお釈迦様のことで、貧しい男は衆生を意味する。人はそれぞれ仏種、仏心（たとえの中の「宝珠」）をそなえ成仏できる存在なのに、少し聞きかじった（少しの収入を得た）くらいで満足し分かったとしていることへの諭しである。



（図1）

Profile プロフィール

小西 真由美
石川県立保育専門学園卒。S53年、仏子園に保母として採用。現職は白山市相談支援専門員。彼女の作る卵焼きは絶品。

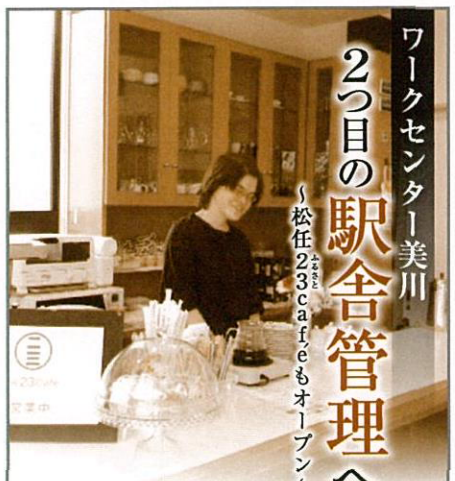
速水 健二
北陸大学法学部卒。H17年、仏子園に支援員として採用。現職は居宅事業チーフ。趣味は金魚の飼育。

紺谷 雅史
北里大学保健衛生専門学院卒。H19年、星が岡牧場に栄養士として採用。現職はB's グリルの管理栄養士。食べることが何よりの楽しみ。

ワークセンター美川

2つ目の駅舎管理へ

～松任23（ふなさと）cafeもオープン～



ワークセンター美川では、昨年10月の美川37（みんな）Cafeの開店以来、本格的な活動が始まりました。Cafeは、障害者の就労の場としてだけでなく、市民の憩いの場として広く活用してもらうことが大切だと考えています。また、2月からは、駅構内の立地の良さを活かし、野菜販売を開始しました。勤め帰りの主婦やご近所の高齢者の方々にCafeを町内の八百屋さん的に利用してもらえたら嬉しいと思っています。

美川駅の施設の指定管理を4月より任されることになりました。指定管理は、文字通り白山市の施設をしっかりと管理・運営することですが、私たちが目指す方向は、市の大切な資源を市民の融和や楽しみを増幅させる発信地にすることだと考えています。

ワークセンター松任は、美川の従たる作業所として4月より発足しました。主な活動はJR松任駅構内の清掃作業ですが、利用者や職員がJR松任駅で一生懸命に働く姿は、乗降客や市民に何かしらの温かさや気づきを送ることができると感じています。また、今回、駅の清掃と合わせて中川一政美術館別館に松任23（ふなさと）このCafeを開設させていただきました。このCafeも就労の場として活用しますが、併設されている「ふるさと館」、「紫雲園（庭園）」など白山市の施設と私たちの活動を結び付けられないか模索しています。今回、松任駅から少し離れたところに位置する松任城址公園内のトイレの清掃業務を合わせて受託させていただきましたが、私たちの活動の範囲は、松任駅を起点として、Cafe・駅周辺施設・公園と駅周辺へ面に展開させ、それぞれが関連し合った形で、全体に賑わいを起こすことを大きな目標としています。

ワークセンター美川・松任
施設長　浅野　秀明

Heart & Beer 日本海倶楽部

レストランリフォーム

「Heart & Beer 日本海倶楽部」は今年で15周年を迎え、内外装のリニューアルを行いました。

自然豊かな緑の中で、一際目を引く赤い建物は異国風の洗練された佇まいを取り戻し、お店の居心地を決めるチェアーも、新しい本皮に張替えられ、ゆっくりとくつろげる空間となりました。

この4月から、能登と加賀を結ぶ大動脈である「能登有料道路」の無料化に伴い「のと里山海道」と名称を変えました。北陸新幹線金沢開業、能越自動車道七尾開通を控え、北陸や大都市圏とのアクセスが大きく向上することになり、能登の活性化が見込まれます。

この能登に吹いた追い風を受け、ハード面のリニューアルに続き、能登産の新鮮な食材や自家製の安全な農作物をふんだんに使ったグランドメニューの改定、魅力ある商品を取り揃えたショップなどソフト面のリニューアルも進めていきます。

そして、〈ビールと食〉〈いやしの時空間〉を楽しめる能登唯一無二のお店を目指していきたいと思います。

日本海倶楽部　竹中　誠